

令和元年度 特別の教育課程の実施状況及び評価等について

守谷市立松ヶ丘小学校

1 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程を編成・実施する学校

守谷市立松ヶ丘小学校

(2) 特別の教育課程の概要

守谷市保幼小中高一貫教育のスローガン「世界に輝く人づくり」を目指し、急速に進展するグローバル化に対応することができる人材を育成するため、小学校1年生～2年生において、生活科の35時間分（1年生は34時間分）を新設する。「英語活動」においては、守谷市独自に配置している外国語指導助手（ALT）との交流の機会を多く設け、体験的な活動をとおして外国語や異文化を理解し、自他の文化や価値を尊重することができるグローバルな視野や態度の素地を育む学習を行う。

(3) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する

必要性

守谷市では、保幼小中高一貫教育「きらめきプロジェクト」を推進しており、就学前の保育所等でも、英語を用いた遊びなどを積極的に取り入れており、一貫教育として就学前の学びを小学校入学後においても継続する必要性がある。また、意識調査からも、外国語に係る学習への興味関心が高い児童の割合が高く（87.0%）、また、将来は国際社会で活躍することを希望する児童生徒も多い。保護者からも本市の外国語教育に係る取組に対して高い支持を得ており、特別の教育課程を編成する必要がある。

(4) 特例の適用開始日

平成23年4月

平成30年4月 変更

平成31年4月 変更

令和2年4月 変更

(5) 取組の期間

令和8年3月31日まで

2 特別の教育課程の編成・実施計画に基づく実施状況

- 計画通り実施できている
 - ・ 一部、計画通り実施できていない
 - ・ ほとんど計画通り実施できていない

3 特別の教育課程に基づく教育の実施状況に関する自己評価結果

(1) 第1学年児童による評価

① 英語活動の時間は、楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	77.5
楽しい	13.7
あまり楽しくない	8.8
楽しくない	0.0

② ALT の先生といっしょの活動は楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	82.0
楽しい	12.9
あまり楽しくない	3.8
楽しくない	1.3

③ 英語をもっと話せるようになりたいですか。

	割合(%)
とても話せるようになりたい	72.5
話せるようになりたい	23.8
あまり話せるようになりたくない	2.5
話せるようになりたくない	1.2

④ 外国のことをもっと知りたいと思いますか。

	割合(%)
とても知りたい	71.2
知りたい	20.0
あまり知りたくない	6.3
知りたくない	2.5

(2) 第2学年児童による評価

① 英語活動の時間は、楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	76.0
楽しい	14.0
あまり楽しくない	9.0
楽しくない	1.0

② ALTの先生といっしょの活動は楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	76.0
楽しい	15.0
あまり楽しくない	8.0
楽しくない	1.0

③ 英語をもっと話せるようになりたいですか。

	割合(%)
とても話せるようになりたい	62.0
話せるようになりたい	34.0
あまり話せるようになりたくない	3.0
話せるようになりたくない	1.0

④ 外国のことをもっと知りたいと思いますか。

	割合(%)
とても知りたい	62.0
知りたい	25.0
あまり知りたくない	11.0
知りたくない	2.0

(2) 保護者による評価

① 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることについて、どのようにお考えですか。

	割合(%)
とてもよい	83.1
よい	15.6
あまりよくない	1.3
よくない	0

- ② 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることで、お子様が英語を繰り返し学ぶ機会が増えていると思いますか。

	割合(%)
とても増えていると思う	38.4
増えていると思う	50.3
あまり増えていると思わない	8.9
思わない	2.4

- ③ 小学校1年生から外国語教育に取り組むことで、お子さまに力が身に付いているとお感じになることはどんなことですか。(複数回答)

	割合(%)
積極的に楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度	38.0
(英語を) 聞く力	42.0
(英語を) 話す力	36.1
(英語を) 読む力	11.6
(英語を) 書く力	6.2
力が身に付いていると思わない	19.9

- ④ お子さんは、英語活動・外国語活動の時間を楽しみにしていますか。

	割合(%)
とても楽しみにしている	22.1
楽しみにしている	59.6
あまり楽しみにしていない	17.0
楽しみにしていない	1.3

- ⑤ 今後の小学校の英語活動・外国語活動について、どのようなことを希望しますか。ご意見等があれば、お聞かせください。(自由記述、一部編集)

- ・ALT と話す機会があるのはとても良い。続けて欲しい。
- ・1, 2年生の英語活動は, 3年生から始まる外国語活動の導入として, 続けて欲しい。
- ・英語でのコミュニケーションをもっと増やして欲しい。
- ・教科書で学習するのではなく, 英語を話す場を作り, コミュニケーションをとれるようになって欲しい。
- ・英語の授業時間だけでなく, 英語で過ごす日があっても良い。
- ・既に, 英語への苦手意識がある。苦手意識をもたせないようにしながら, 続けて欲しい。
- ・ALT と遊ぼう・話そうの回数を増やして欲しい。

(3) 学校関係者（教職員）による評価

- ① 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることについて、どのようにお考えですか。

	割合(%)
とてもよい	47.4
よい	52.6
あまりよくない	0.0
よくない	0.0

- ② 児童は、英語活動・外国語活動の時間を楽しみにしていますか。

	割合(%)
とても楽しみにしている	36.8
楽しみにしている	57.9
あまり楽しみにしていない	5.2
楽しみにしていない	0.0

- ③ 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることで、児童が英語を繰り返し学ぶ機会が増えていると思いますか。

	割合(%)
とても増えていると思う	26.3
増えていると思う	73.7
あまり増えていると思わない	0.0
思わない	0.0

- ④ 小学校1年生から外国語教育に取り組むことで、児童が身に付いているとお感じになることはどんなことですか。（複数回答）

	割合(%)
積極的に楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度	15.8
（英語を）聞く力	89.5
（英語を）話す力	57.9
（英語を）読む力	0.0
（英語を）書く力	0.0
力が身に付いていると思わない	0.0

- ⑤ 今後の小学校の英語活動・外国語活動について、どのようなことを希望しますか。
(自由記述)

--

4 実施の成果と今後の課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により目指す学校の教育目標達成の成果

- ・アンケート調査で、学校の教育目標である「自ら学ぶ子」につながる「英語の時間が楽しい」「英語をもっと話せるようになりたい」と回答した児童が約90%見られた。
- ・「英語トライアル」では、団体平均総合471点であった。学年の85%が400点以上という好得点を記録した。
- ・低学年では、楽しんで学習に取り組むことを主眼とする一方で、学年が上がる程、言語や文化への興味や関心など、知的におもしろい学習活動を求めていることが分かった。

(2) 教育課程全体としてバランスのとれた教育活動が実施され、学校教育法に示す学校教育の目標達成の成果

- ・1年生から継続して取り組んでいるため、学年が上がるにつれ、ALTやHRT、友達と外国語での会話を楽しんでいる。また、外国に対する興味をもち、海外の学校生活や行事などについてALTに尋ねる児童も多く見られる。

(3) 今後の課題

- ・児童が成長していくにあたり、外国語を使えるだけでなく、外国語を通して他者とコミュニケーションを図り、互いの文化を認め合う態度の育成が必要だと考える。
- ・意欲・能力ともに個人差が大きいいため、何が・どのようにできるようになったのか自分で振り返り、次の活動につなげられるようにする。
- ・英語ネイティブスピーカーと児童一人一人が話せるような、授業デザインが必要だと考える。次年度は、特に高学年において、ALTやHRTと1対1で話すことができるような学習活動を計画していきたい。

5 授業の様子



辞書を使って自分の伝えたいことを調べて、書き写す様子



ALTや友達と英語のやり取りを楽しむ様子